

血の針

村越としや



2019.8.3sat-8.18sun 須賀川市民交流センター tette

脈々と受け継がれてきた血という針、
 それぞれが思いの糸を紡ぎ、家族という刺繍を縫って行く。
 写真を撮ることでぼくは家族との思い出を、
 ある地方に住む家族の記録として残していく。



2019.8.3 sat-8.18 sun
 須賀川市民交流センター tette
 1階「ルーム1-1」

須賀川市民交流センター tette

962-0845 福島県須賀川市中町4-1

〈電話番号〉0248-73-4407

〈観覧時間〉10:00-17:00

〈電車でお越しの方〉

JR須賀川駅から徒歩20分

〈バスでお越しの方〉

「須賀川中町」バス停下車徒歩2分

〈車でお越しの方〉

東北自動車道須賀川ICから車で10分



tette オープニング記念事業 (主催) 須賀川市民交流センター

村越としや

1980年福島県須賀川市生まれ。主な個展として、「timelessness」コニカミノルタプラザ（東京2008年）、「uncertain」新宿ニコンサロン（東京2009年）、「草をふむ音」福島空港（福島2012年）、「火の粉は風に舞い上がる」武蔵野市立吉祥寺美術館（東京2014年）、「沈黙の中身はすべて言葉だった」CASE TOKYO（東京2017年）、「濡れた地面はやがて水たまりに変わる」タカイシイギャラリー フォトグラフィ／フィルム（東京2018年）など。主な受賞歴に、日本写真協会賞新人賞（2011年）、さがみはら写真新人奨励賞（2015年）。東京国立近代美術館、サンフランシスコ近代美術館、相模原市、福島県立博物館に作品が収蔵されている。